

今までに開催された講座・研究会

第6回 宮城臨床栄養研究会 <SHOKEIビル>



市民公開講座 24年2月18日(土)10:30~16:00

「腎臓病における食事療法の重要性  
～災害時も含めて～」  
講師:出浦照國先生



会場から、活発に質問がありました。



今回も、たくさんの業者展示がありました。



出浦先生も、でんぷん使用の菓子を試食されていました。

今回は、23年3月11日発生の東日本大震災時に、  
患者さんはどのように食事療法をおこなっていたか、  
2名の方に体験をお話していただきました。



福島県南相馬市 佐藤昌文さん・晴美さん

佐藤昌文さんは、「透析治療が必要」と診断されてから、エネルギー2000kcal・たんぱく質20gの食事療法を夫婦で継続し、保存期を維持されています。震災時、自宅は、津波の被害などはなかったものの、原発事故での屋内退避の指示があり、茨城に住む娘さん家族のもとへ非難されたそうです。大変な状況にありながら、でんぷん製品の確保に奔走されたり、不測の事態に備えて、でんぷん食品を小分けして持ち歩く、どこでもでんぷん食品を調理できるようにガスコンロ・炊飯器を持ち歩く・・・など工夫され、食事療法を1日たりとも中断することはなく、体調も維持されていたそうです。現在は、自宅に戻られ、通常の生活に戻られているそうです。～佐藤さん、貴重なお話ありがとうございました。～



コメディカル研究会 24年2月19日(日)9:30~15:00

「透析療法～その1～」  
講師:出浦照國先生

